

クルマ情報 TOPICS

7月
vol. 81



コンパクトSUVに新たな1台

アウトランダーPHEVに待望の「ブラックエディション」が追加

荷室容量はクラストップレベル

ロッキー／ライズのヒットで注目を集めているコンパクトSUVに注目の新型車が発売されました。日産が誇るハイブリッドシステム、e-POWERと運転支援システムプロパイロットを全車に標準搭載したキックスです。キックス用にチューニングされたハイブリッドシステムにより、燃料消費率21.6km/L (WLTCモード) を達成、EV並みの加速感と合わせてe-POWERならではの走りを楽しむことができます。

全長4,290mm×全幅1,760mm×全高1,610mmというボディサイズはロッキー／ライズより一回り大きく、トヨタ・C-HR、ホン



日産のシンボル、ダブルVモーショングリルとフローティングルーフと呼ばれるルーフデザインでスタイリッシュなエクステリアを演出。ボディカラーはツートンを含めると全13色が用意されています。



ツートンのインテリアカラーは、より上質感を際立たせてくれます。



荷室容量がとにかく広いと評判のキックス。大型のスーツケースが2つ、9インチのゴルフバッグは3つまで積載可能です。

ダ・ヴェゼルよりやや小さいというコンパクトサイズ。それでも室内空間は余裕のスペースが確保されています。とりわけ、荷室容量はクラストップレベル。ますます、コンパクトSUVの選択肢が広がりました。

待望の「ブラックエディション」



ボディカラーはチタニウムグレーメタリック/ブラックマイカ (左画像)、レッドダイヤモンド/ブラックマイカ、ホワイトパール/ブラックマイカの3種類 (いずれもツートン) が設定されています。

国産SUVプラグインハイブリッド車を代表する三菱・アウトランダーPHEVに特別仕様車「ブラックエディション」が加わり、6月5日(金)に発売されました。エクステリア、インテリアとも黒を配した精悍なイメージが、更に存在感を際立たせています。

エクステリア、インテリアの各部をブラックで統一し、大人の雰囲気を高めています。これまで三菱ではエクリプスクロス、RVRに「ブラックエディション」を設定してきましたが、アウトランダーPHEVは待望の1台となりました。



本革巻ステアリングホイール、アルミペダルを採用するなど、スポーティさも「ブラックエディション」のウリのひとつです。



ブラック塗装の18インチアルミホイール。

東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。

自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。